

箱根の未来をつくる、私の仕事。



プロフィール

氏 名：村上さん

所 属：企画観光部企画課企画係
(2年目)

職 種：一般行政職（事務）

入 庁：2020年

経験部署数：2部署

休日の過ごし方：モルック、地元
イベントの準備や運営の協力

入庁のきっかけ

入庁前、役者を目指し養成所に通っていましたが、現実とはなかなか厳しく、夢破れて、少しくすぶった気持ちのまま、地元・箱根に帰ってきました。(泣) 当時は、やりたいことが特になく、「仕事をするなら、箱根に関われる仕事かなあ」という気持ちで職を探していましたところ、箱根町の職員採用試験のことを知り、受験することを決めました。



今の仕事内容

私は主に「自然や資源の保護」に関する仕事を担当しています。「箱根トラスト制度」は箱根の自然環境の保全のため、町民や観光客、企業から寄付金をいただいているもので、その制度の周知や寄付受付から会計処理、町内に設置している募金箱の回収を行っています。また、集まった寄付金が自然環境の保全事業に適切に活用されるよう管理するほか、地下水と箱根の大切な資源である温泉を将来にわたって安定的に利用していくための保全対策の推進や県内唯一の湿原である仙石原湿原の環境を維持・向上させる取り組みを様々な団体と協力しながら、次の世代へ引き継ぐための仕事を行っています。



仕事のやりがい

自然や資源の保全は、すぐに成果が見える仕事ではないため、日々の業務の中で大きな達成感を得られる場面は多くありません。自然や環境について学ぶことばかりで、難しい部分もありますが、自分の考えを、正面から受け止めてくれる上司や先輩に恵まれてきたこと、そしてお互いに協力し合える職場環境の良さがあります。もちろん、職員もいろいろな人がいますが、それも含めて、組織の中で働く面白さだと感じています。自分が取り組んでいることが、何年後、何十年後かの箱根の自然や温泉、景色を守ることにつながり、未来の箱根の魅力として残っていたら、大きな感動とやりがいを実感するのだと思います。



受験生へのメッセージ

箱根町で働きたいと思うきっかけは、立派なものでなくてもいいと思います。「地元だから」「箱根が好きだから」「安定していうだから」など、入口は様々です。実際に働いてみると、与えられた仕事をこなすだけでなく、課題や目標に対して自分なりに考え、動いていく力が大切だと感じる場面が多くあります。私自身もまだ学んでいる途中ですが、そうした姿勢を持ちながら、一緒に成長していけたらうれしいです。

ある1日のスケジュール

- 8:30 業務開始・メールチェック
- 10:30 資料作成・事務処理
- 12:00 昼休憩
- 13:00 仙石原湿原など現場確認
- 15:00 打合せ・係内情報共有
- 16:30 資料整理・事務処理
- 17:15 退勤

